

2月24日(水)

第3回学校評議員会を開催しました



本年度の第3回学校評議員会を開催しました。本校の校区には5つの地区があり、土岐地区と明世地区からはそれぞれの区長会代表者と中央公民館長が、日吉地区からは区長会代表者と日吉公民館長が、そして、大湫地区釜戸地区からは、区長会代表者と公民館長が参加していただきます。

今年度は地区の中で中学生が活躍する姿が激減し、せめて学校の中で感染症対策をしてがんばっている中学生の姿

を確かめていただきました。そして、今後につながる貴重なご意見をたくさんいただきました。学校側からは今年度の成果と課題、そして、来年度に向けた学校づくりの方向を説明しました。

また、今回は瑞浪市教育委員会より、コミュニティースクールを担当する吉村氏に来ていただき、令和6年度までに市内全小中学校で完全実施するコミュニティースクールについての説明を受けました。スタートして2年目の本校ですが、5つの地域が中学校の教育を通して一つにまとまるためにも学校評議員会は大切な組織と言えるでしょう。

学校評議員の皆様からいただいたご意見ご感想は以下の通りです。

- ・積極的に手を挙げる生徒が多い。
- ・5教科以外の、技術、音楽、美術も全員真剣で、自主性を感じます。
- ・「友達先生」(仲間同士の教え合い)が広がるといいと思います。
- ・発言の際に「話します」と言って発言する生徒とそうでない生徒がいる。発言の仕方や聞き方について全校で検討できるとよい。
- ・「できた、できない」だけでなく、何ができた、どこまでできた、まだできていないことは何か、しっかり見つけていくことが大切。
- ・生徒の落ち着いた様子から、頑張っておられると思います。校長先生が言われるように、目標を高くもたせてほしいと思います。
- ・勉強が好きだ、おもしろいという生徒が増えるといいですね。
- ・授業参観させていただき、全生徒が集中して授業に向かっていることを感じました。
- ・ほぼ新築のまま保たれており、5Sの環境が行き届いている。
- ・マスクをつけたまま歌う授業は、仕方がないが、先生も生徒も大変そうではある。
- ・教室のロッカー内等、「よりよい整頓」を意識して行動している生徒が育っていると感じました。「整える」意識が、掲示物や板書、言葉遣い等に一層生きていくよう期待します。
- ・来年度もコロナに左右される年度になるかと思います。感染防止に重点を置いた環境づくりが中心かと思います。大変ですが、「命を守る」ことが一番大切なので、がんばってください。
- ・コロナが収束したら、地域のお祭りや行事のボランティアに、再び参加できるといいですね。
- ・田舎の老人たちは、日頃、生徒たちに接する機会もなく毎日を過ごしています。今年、釜戸小の子どもたちが大湫での作業を行った際、非常に喜んでいました。今後、子どもたちに接する機会を多くつくってください。
- ・学校内、教室内で「地域」について考え合う時間がもてると「地域のアプローチ」の種が見つかると思います。生徒会組織の中に「アプローチの種」を集約し、実際の行動につなげる部署(役目)を設定できるといいと思います。
- ・土岐地区で12月に行った土岐川清掃に多くの生徒が参加してくれて、ありがとうございました。
- ・地域には多くの課題がありますが、難しく、解決していくことは大変です。生徒が地域に関わることで、共にコミュニティをつくっていくようになればと思っています。
- ・地域を生徒たちに知ってもらう取組を、これからも行いたいと思います。よろしく願います。
- ・先生方の地域貢献への思いに感謝しています。
- ・今後も、地域の自然、歴史、文化、イベントへの協力・参加へ導いていただけるとありがたい。

